

# きんりんしや

AIRACITY NISHIKIE KINDERGARTEN PHONE 63-2038 FAX 63-2034

## 木育 (もくいく)

屋久杉，檜などいろんな形の積み木 これは何をしようというのか?!

今月6日，子どもみらい課から講師を招いて，「木育活動」を行いました。

みなさん！「木育 (もくいく)」って聞いたことありますか？

実は，北海道庁が主導でスタートした「木育プロジェクト」によって提言された教育概念で，幼少期から木や森林とふれ合い親しみを感じることで，豊かな心を育てる目的で始まったものです。木と五感で「ふれあう」ことにより感性を高め，「手でつくり，手で使い，手で考える」経験を通して自分自身を大切にすることを知り，人や自然に対する「思いやりやさしさ」を育みます。ちょうどこの日



## いろいろな形の積み木で遊ぶ

は，県民週間だったこともあり，保護者のみなさんも子どもたちの遊ぶ様子を参加してもらいました。

子どもたちは，様々な形の木・香りの違う木や手触りの違う木など五感を使って楽しみ，積み木遊びを楽しんでいました。

ひと口に「積み木」といっても，友だちと一緒に木で遊び，木に学び，木でモノをつくる体験を通じて，楽しさや喜びを実感し，共感を分かち合いそれが私たちの暮らしを支える地域や社会，人づくりへと繋がっていけば素晴らしいと感じた。



子どもたちの発想力って凄いなあ！いろんな組み合わせを考えて (^\_^)



ほら！こんなにいろんな積み木があるよ！これ，どうする？



木の匂いを嗅いでみようか (>\_<) どんなにおいがする？

## 共に活動



あわ作りを楽しむ



ぐるんぱさんの  
読み聞かせ



クラス別でお話会でした

16日

## 観劇鑑賞会

あかずきん、3びきのこぶた



## 交流活動の中で (加治木幼稚園と)



## 力を合わせて成長を促す

交流活動ってある意味、「出会いを育てる」という感覚かもしれません。いい出会いにするためには、自分がある程度苦勞（我慢・忍耐など）をして出会いを育てていかないといけないということです。子どもたちなりに「自分を信じる力（自信）」と「人を信じる力」を取り戻すのです。近頃の子どもたちは、相手の心には踏み込まず、表面的なつきあいが目立つそうです。これは、自分が傷つくのが怖いからだといえます。友だちのことを、本当の仲間だと思っていないからだそうです。人を信ずる力が欠如しているからとか。しかも、人を信じる力も、自分自身を信じる力も根本的には同じだそうです。では、信じる力の土台となる「人を信じる力」を育てるのは誰か。それは、愛されている、評価されてという実感を得られると、子どもは自信をもつことができます。子どもがいちばん信じたいと思っている人、それはお父さん・お母さんです。子どもは、人とのコミュニケーションの仕方を親との交わりの中で学び、他人（友だち）との関係に 응용していくといわれます。親を信じる力が友だちを信じる力になり、先生を信じる力になり、社会のいろいろな人を信じる力になり、それが社会性になっていくのです。他者との深く豊かな交わり遊びの中で、子どもたちは自己を確立していくわけです。